



学校だより 7月号

石川小学校 学校教育目標
育てます。「石川魂」

令和5年6月30日
横浜市立石川小学校
校長 寺園 淳

自分の力を知る

校長 寺園 淳

自然園のアジサイが色鮮やかな花を咲かせています。子どもたちは梅雨の晴れ間を縫って、外遊びを楽しんでいます。今年の運動会は、4年ぶりに1日開催で実施しました。当日は保護者の皆様のご理解、ご協力によりスムーズに進行することができました。ありがとうございました。

この時期の取組として私が着任して以来、6年生との会食を実施しています。他校の様子では、6年生が卒業式を迎えるころに実施することが多くありますが、石川小では体験学習を実施する前に会食の機会を設けています。子どもたちには、この会食を実施する理由を「校長先生と6年生が仲良くなれば、その学校は必ず良くなります。そのために行っています。」と伝えています。子どもたちの代表である6年生とコミュニケーションを十分にとることで、これからの子どもの思いや願いを具現化する一助にしたいと考えます。今年の6年生は例年と異なり、体験学習の実行委員ごとに会食に参加しています。そこで会食のプログラムを次のように準備しました。

1 自己紹介 2 体験学習で挑戦したいこと、身に付けたい力 3 将来の夢

会食は給食を食べることから始まります。3年間の黙食の習慣か、それとも校長との食事緊張しているのか、とても静かです。しかし中には、にぎやかに会食を始めるグループもあります。一通り食事を終え、自己紹介の場面となります。名前のほか、自分の好きなことや得意なこと、夢中になっていることなどをそれぞれの思いで伝えていきます。続いて体験学習に対しての思いが話題となります。この話題の時、校長として6年生の言葉にとっても感心しました。自分が身に付けたい力は何かと問われたとき、進んで行動する力、仲間と協力する力、めりはりをつける力など、一人ひとりが自信をもって答えていました。中にはこれらの力を今まで身に付けてきたから、さらに伸ばす場にしたい、これらの力をもとに仲間との思い出を築きたいという言葉もありました。なんと素晴らしい子どもたちでしょう。自分が身に付けてきた力を自覚できているのです。これは学力調査では測ることができないものです。この力が主体的な学びへと生かされていくはずで

その6年生は7月8日からの2泊3日で日光に体験学習に出発します。子どもの主体性を育てる場の一つが戦場ヶ原のハイキングです。石川小では子ども同士のグループ行動でゴールの湯の湖をめざします。子どもたち一人ひとりが主体的に取り組み、仲間と協力して無事に湯の湖に到着できることを願っています。そして主体的に取り組みすることで、成し遂げた満足感を味わってほしいです。

6月16日実施の授業参観日は、子どもたちの運動会とは異なる活躍の場を、多くの保護者の皆様に参観していただきました。その後の学校説明会では、今年度の全ての教育活動が子どもの主体性を育むことにつながるよう進めていくことを各担当者よりお伝えしました。教育活動は目的を明確にし、意図的に構築されなければなりません。そのためにも私たち教職員は研修を重ねてまいります。保護者の皆様、地域の皆様のお力添えをお願いいたします。